

カラマツ特定母樹展示林の設定

林業用の種苗は従来よりも成長等に優れた「エリートツリー」（第2世代以降の精英樹）由来のものが主役になっていくことが期待されています。このエリートツリーの中から、成長に係る特性の特に優れたものを農林水産大臣が「特定母樹」として指定し、その増殖の実施の促進を図ることとされています。

この特定母樹は初期成長の早さから下刈りの削減が期待できるなど、「新しい林業」の実現にはなくてはならない存在です。

令和5年6月7日、一関市巖美町の国有林において、林木育種センター東北育種場と当署が共同で「カラマツ特定母樹展示林」を東北地方で初めて設置しました。

カラマツは、岩手県をはじめとする東北地方において重要な造林樹種です。この展示林を通じて、カラマツ特定母樹の優れた特性を林業関係者や一般の方々にPRし、今後の普及に繋げていくことを狙いとしています。

当日は、報道3社の取材を受けながら、東北育種場が長年の努力により開発したカラマツ特定母樹（17系統）と比較対象の従来のカラマツ合計160本を植栽しました。現在は植栽直後そのため、生育状況にあまり差は見られませんが、数年後には特定母樹の成長の早さが確認できるものと期待しています。

今後とも、東北育種場との連携を通じて、特定母樹の普及に努めてまいります。



植栽したカラマツ特定母樹



カラマツ特定母樹展示林の遠景

（森林整備官 永井）